

平成 30 年 7 月 18 日

中国電力株式会社

島根 2 号炉 高経年化技術評価 技術評価書の誤記について

申請済の高経年化技術評価書の誤記について、「島根 2 号炉 高経年化技術評価 技術評価書の誤記について（平成 30 年 7 月 11 日）」にてご報告させて頂いているが、新たに 1 件の誤記を確認したためご報告する。

1. 経緯

7 月 17 日に中性子照射脆化の補足説明資料の作成過程で、容器の技術評価書に誤記があることを確認した。

2. 誤記内容と評価への影響

確認した誤記を表 1 示す。

なお、今回の誤記により高経年化技術評価の評価結果に影響与えることはないことを確認している。

表 1 容器の技術評価書 (P2-15)

	訂正前	訂正後	備考
中性子照射量の 転記誤り	$6.46 \times 10^{21} \text{ n/m}^2$	$6.28 \times 10^{21} \text{ n/m}^2$	資料から異なる中性子照射量を転記した。

3. 今後の対応

確認した誤記については、社内QMS（島根原子力発電所 不適合管理・是正処置手順書）に基づき不適合管理を実施する。また、報告済の誤記と合わせて行う、今後の是正処置で定める方法により評価書に記載する全ての数値について確認を行う。

なお、引き続き補足説明資料等の審査資料については、資料提出前に数値の確認を確実に実施する。評価書に誤記を確認した場合は、社内不適合処理を行うとともに速やかにご報告する。

添付資料

- (1) 島根 2 号炉 高経年化技術評価 技術評価書の誤記について（平成 30 年 7 月 11 日）

以上

添付資料（1）

平成30年7月11日

中国電力株式会社

島根2号炉 高経年化技術評価 技術評価書の誤記について

申請済みの高経年化技術評価書のうち、ポンプ、弁および計測制御設備の技術評価書に誤記があることが判明したため経緯等について説明する。

1. 経緯

本件は、6月6日に補足説明資料の作成過程でポンプの技術評価書で判明し、同様の数値の間違いの有無について、他の技術評価書を確認した。その結果、弁および計測制御設備の技術評価書で誤記を確認した。

2. 誤記内容と評価への影響

確認した誤記を表1～表3に示す。

なお、いずれの誤記についても高経年化技術評価の評価結果に影響与えるものはないことを確認している。

表1 ポンプの技術評価書 (P3-12)

	訂正前	訂正後	備考
疲れ累積係数の転記誤り	0.00 <u>3</u>	0.00 <u>1</u>	数値の桁数を読み誤り、誤った数値を記載した（資料数値は0.0003であり、切上した数字を記載するのが正）。

表2 弁の技術評価書 (P12-36)

	訂正前	訂正後	備考
線量の修正忘れ	通常： 1.5×10^2 事故： 1.8×10^3 合計： <u>3.9×10^3</u>	通常： 1.5×10^2 事故： 1.8×10^3 合計： <u>2.0×10^3</u>	通常運転時および事故時線量を変更した際に、合計線量を修正し忘れた。

表3 計測制御設備の技術評価書 (P1-137)

	訂正前	訂正後	備考
線量の転記誤り	通常： 1.5×10^2 事故： <u>4.5×10^2</u> 合計： <u>6.0×10^2</u>	通常： 1.5×10^2 事故： <u>1.8×10^3</u> 合計： <u>2.0×10^3</u>	資料から異なる事故時線量を転記した（上記の転記誤りに伴い、合計線量も誤った数値を記載した）。
判定基準の転記誤り	1.0×10^2	1.0×10^{12}	乗数を読み誤り、誤った乗数を記載した。

3. 今後の対応

確認した誤記については，社内QMS（島根原子力発電所 不適合管理・是正処置手順書）に基づき不適合管理を実施しており，今後是正処置で定める方法により評価書に記載する全ての数値について確認を行う。

なお，補足説明資料等の審査資料については，資料提出前に数値の確認を確実に実施する。万一，評価書に誤記を確認した場合は，社内不適合処理を行うとともに速やかにご報告する。

以 上